

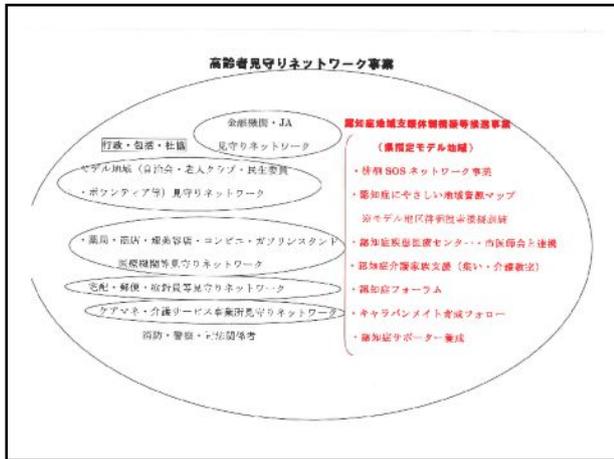
いなべ市22年度 認知症地域支援体制構築等 推進事業計画

平成22年7月30日(金)
いなべ市地域包括支援センター

高齢者見守りネットワークのビジョン

高齢者が、どのような状態になっても住みなれた地域で安心して暮らせる地域づくりをめざす。
(新たな支え合い＝共助を、地域の中で、地域住民により作り上げられるよう、住民の意識改革・活動支援・通報システムの構築を図る。)

将来的には、高齢者のみならず、障害者、子どもが安心して暮らせる地域づくり、防災、防犯面についても安心して暮らせる地域づくりにつなげる。
22年度は認知症地域支援体制構築等推進事業を切口に、高齢者見守りネットワーク事業を推進する。



いなべ市22年度認知症地域支援体制構築等推進事業

- 見守りネットワーク作業部会1:コアメンバー**
- 事業企画(ビジョン・目標・推進計画の提案(高齢者見守りネットワーク検討会議へ))
 - 実施体制構築づくり:推進組織チーム作り(作業部会2、コーディネーター支援)
 - 基盤となるネットワークづくり(関係団体、関係機関、地域資源の把握・関係づくり)
- 見守りネットワーク作業部会2:事業推進組織**
- 活動計画作成、実施
 - 関係団体、地域資源の把握・関係づくり
 - 地域における住民活動支援



①いなべ市徘徊SOSネットワーク構築事業(案)

●目的

認知症高齢者等と家族を支援するために、警察、行政、社協、協力機関・協力員、地域が協力連携して、徘徊により行方不明となった高齢者を早期に発見するための「徘徊SOSネットワーク」を構築することを目的とする。(広域で、行方不明者を気にかけてくれる目を増やす仕組み)

②認知症に優しい地域資源マップ作成

●目的

調査・把握した地域資源情報を必要とする本人・家族等に提供する。

見つけ出そう地域資源

<立ち寄り場所>

- ・ 商店
- ・ 薬局
- ・ 理美容店
- ・ スーパー、コンビニ
- ・ 金融機関、郵便局
- ・ 寺、神社
- ・ サロン、趣味の会
- ・ 老人クラブ、自治会、組
- ・ 医療機関
- ・ 図書館、喫茶店、レストラン
- ・ 交通機関

<家を訪問する人>

- ・ 宅配業者
- ・ 弁当、飲料、新聞、灯油
- ・ 検針員
- ・ 水道、ガス、電気
- ・ 郵便、宅急便
- ・ 老人クラブ友愛訪問
- ・ 民生委員訪問
- ・ ボランティア訪問
- ・ 配食ボランティア
- ・ 介護サービス事業所
- ・ ケアマネジャー

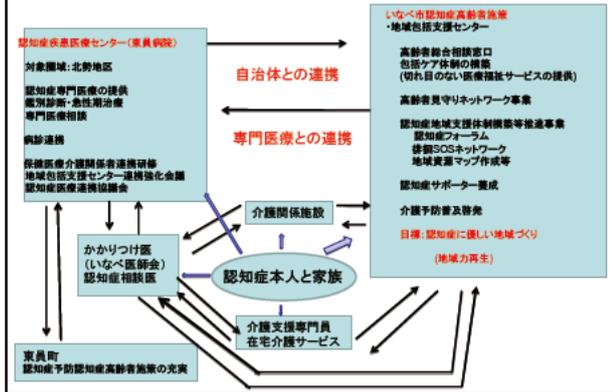
③医療との連携

認知症疾患医療センター・医師会との連携

●目的

本人、家族が地域で気軽に相談できる場として、かかりつけ医と認知症疾患医療センターとの連携体制を作る。また医療、介護サービス関係者などが、地域で認知症の人と家族を支えるために、日頃から円滑に相談できる連携体制の仕組みを作る。

～認知症になっても安心して暮らせる町に～
(認知症疾患医療センターといなべ市との連携について)



④キャラバンメイト・サポーターの養成 (キッズサポーター含む)

●目的

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を多数養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民の手によって、つくっていくことを目指す。またサポーター活動の担い手としてのキャラバンメイトの育成を行い、活動の活性化を図る。
平成29年度までに、4,500人のサポーター養成を目指す！(年間 500人以上)

●実施内容

- 1 キャラバンメイトのフォローアップ研修
対象: メイト資格取得者
内容: メイト活動方法、意見交換など
- 2 サポーター養成講座
キッズ、一般高齢者、一般、企業、専門職、行政、社協職員、
介護サービス事業所との協働
※ 4~5人でも集まれば実施していく。

⑤家族介護支援事業

●目的

認知症高齢者等と家族を支援するために、本人・家族の声を聞き、家族の望む支援を把握すると共に、認知症及びそのケアの理解の機会を提供する。
また、認知症高齢者等と家族の交流を促進し、当事者同士が支えあう活動をするための支援を行う。

●実施内容:

- ①介護者のつどい: 講師: 包括支援センター職員 テーマ: 「認知症について」
6月23日 10時~11時半
- ②介護者教室: 講師: 福業潔乃氏 テーマ: 「認知症のケアについて」
8月26日 10時~11時半
- ③介護者のつどい地区別交流会: テーマ「認知症」
7月23日 藤原 9月29日 大安 12月8日 北勢 1月26日 井
- ④ 本人・家族の声を聞く: つどい、だいふくの会
ケアマネへのアンケート調査(居宅介護支援事業所会議を通して)
- ⑤認知症介護家族のグループ育成支援
- ⑥だいふくの会支援

- 対象者: 認知症高齢者等と家族
- 参加費: 無料

⑥認知症フォーラム

●目的

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援する「認知症サポーター」を養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちを市民の手によってつくっていくことを目指す。また地域の認知症の人と家族を支える関係者が集い、現状の取組について意見交換を行い、各機関の役割を市民に周知する。

⑦事業所研修

●目的

専門職の認知症支援に関する資質の向上、及び認知症の人への支援を協働して実施できるよう連携体制を作る。

●実施内容

研修・連絡協議の場の提供をする。

- 居宅介護支援事業所連絡会議(年3回)
- 認知症事例検討会(助言者:東員病院村瀬院長)
(介護支援専門員・介護サービス事業所職員対象)
- 介護支援専門員事例検討会(年6回)
- 介護支援専門員協会委託研修(年3回)
認知症介護研究研修東京センター方式研修(1回)
(介護支援専門員・介護サービス事業所職員対象)
- 施設介護支援専門員連絡会議(年2回)
- 通所介護・通所リハビリ事業所連絡会議(年2回)
- 訪問介護事業所連絡会議(年2回)